



近藤 悦男 議員

# 山岡小学校と棚倉小学校の統合の進展状況を問う

## 検討委員会は「統合もやむなし」との提言



▲山岡小学校児童（校内避難訓練）

**質問** 山岡小学校と棚倉小学校の統合の進展状況について、地域や保護者との合意形成が進んでいるのか。また、統合を推進するにあたり、当面の課題、問題は整理されているのか。

**答弁（教育長）** 検討委員会を組織し慎重に検討を進めた結果、少子化に伴う諸行政の合理化、広域化、統合化という時代の流れと受け止め、統合もやむを得ないものと判断されたとの提言である。  
今後は検討委員会の提言に基づき統合に向けた課題、解決を図るべく、地域住民、保護者等のコンセンサスを得てまいりたいと考えている。

**質問** 一番大事なのは子供の教育と思う。そういう点から見ても、検討会が少ないのではないのか。今後、どのように考えているのか。

**答弁（教育長）** ご指摘いただいたように、住民、保護者の方々に理解をいただけるように話し合いをもつてまいりたいと思っている。

**問** 要支援・要介護認定の判断基準はどのように決めているのか

**答** 白河広域圏で実施している判定会議において総合的に判断・認定

**質問** 要支援・要介護認定の判定基準はどのように決めているのか。また、介護者に助成金名目で援助することはできないか。介護施設に入れない人々の在宅介護の充実が必要と思われるが、今後の取組みは。

**答弁（町長）** 認定調査員が本人及び関係者と直接面談するなどの訪問を行い、基本調査と主治医の意見書を基に白河広域圏で実施している判定会議で判断され、認定される。

助成金については、過去一年間に介護サービスを受けなかった者を介護している家族に介護慰労金十万円を支給。援助としては、軽度生活援助事業や家族介護支援支給事業などを行っている。施設に入れない待機者については、適切な介護が受け



▶在宅介護の支援状況

られるように、ケース会議の中で話し合いながら対応している。  
**質問** 施設に預けると要介護4や5の場合、月どれくらい町からの負担が出てくるのか。

**答弁（健康福祉課長）** 月約二十九万円から三十五万円かから、年間で約三百五十万円位かかる。これは町の介護保険からの負担金額で、本人負担は一割くらいである。

**質問** 大変な金額である。同居世帯が温かい介護をしながら、施設の世話にならず百歳を迎えた方に、百万円の現金支給を検討してはどうか。

**答弁（町長）** 今後十分に考えていく必要があるかと思っている。

(5) 平成21年6月定例会議会日より



和知 良則 議員

問

公共工事の入札方式は

答

総合評価方式の取組みを目指す

**質問** 公共工事の入札参加要件の内容はどのようなものか。業者の地域貢献度を加味した評価方式は、入札参加要件の中で工事実績を重視しすぎると、実績を上げるための赤字覚悟の安い受注がなされる危険性があると思うが見解を伺う。

また、地産地消の考えから、工事を地元業者が落札することによって雇用促進が図られ、地域の活性化に結びつくのではないか。

**答弁（町長）** 入札参加資格要件は、入札参加資格審査申請書等を受付期間内に提出し、資格審査委員会の審議及び町長の認定を受け、工事等有資格業者名簿

に登録となり、評価点数に応じて可能と思われる工事に適用される。また、入札参加者に技術提案を求め技術力と価格を総合的に評価して落札業者を決定する総合評価方式の取組みが求められており、年度内の施行を目指していきたい。

**答弁（副町長）** 経営規模などの評価結果の総合評価値に基づきランク付けをしており、偏った考え方はしていない。また、地域貢献等も含め、新たな総合評価方式の取組みを検討を加えている。地元経済の安定や雇用の確保、地元企業の育成等は十分に配慮して実施している。



▶ルネサンス棚倉多目的広場整備工事

問 有害鳥獣捕獲対策を問う

答 被害防止計画を策定し、補助事業の活用を検討していく

▶イノシシに掘り起こされた畦畔（中山本地内）



**質問** 捕獲した鳥獣を有効活用するための加工施設等での利用を考えてはどうか。また、農林水産省で実施の鳥獣害防止総合対策支援事業をどう活用していくのか。

**答弁（町長）** 肉などの利活用は、地域協議会や市町村、JAなどが処理加工施設の整備に取り組む場合、補助事業の対象となるが、処理加工施設については現在検討していない。

なお、補助事業などの支援措置を受ける被害防止計画の作成を早期に計画をしていく。

問 観光地の整備とイベントに対する支援は

答 観光協会各支部と協力し、環境保全を進めていく

**質問** 観光産業は地域の活性化に結びつくと思うが、環境整備はどのように進めていくのか。

**答弁（町長）** 今後の観光地における環境整備は、ハード面の整備予定はないが観光協会各支部と協力し、主要観光地の環境保全を進めていく。イベントの開催には、共催や後援、補助金の交付など内容を勘案しながら適宜支援をしていきたいと考えている。



▶観光のメッカ山本不動尊



松本 英一 議員

# 問 介護保険報酬改正の影響は

## 答 サービス低下は招かないし、保険料算定基準は同じ

**質問** 介護サービスの単位見直しに伴い保険料金の値上げが心配されるが値上げがあるのか。また、サービス低下を招かないのか。

**答弁**（町長） 近年の介護サービスをめぐるのは介護従事者の離職率が高く、人材確保が困難である現状を改善し、質の高いサービスを安定的提供するため、介護従事者の処遇改善のための緊急特別対策として、介護保険報酬改定率を三%とすることが決定された。

サービス低下は招かないし、二十一年度から二十三年度の保険料算定基準は同じである。

**問** 保育料を無料化してはどうか。試算はどの程度か

**答** 二千六百四十七万円が町の負担となる

**質問** 近隣市町村の若いご夫婦が「子育てするならば保育料が無料の棚倉町で」…改革が必要ではないか。無料化した場合の試算は。



▶棚倉保育園第2園舎

**答弁**（町長） 子育て支援は重要課題と位置づけて、各種事業を拡充し、実施している。

試算は、平成二十一年度保育園児一カ月の人数は百四十一人で、年間延べ千六百九十二人の予定。

平成二十一年度保育料は国で定めた徴収基準額の六十一%に当たる二千六百四十七万円であり、差額分の千六百九十九万円については既に町が負担し軽減を図っている。完全無料化した場合の試算額は二千六百四十七万円が町負担となる。

**問** 超高圧送電線からの氷塊落下の安全対策を早急に

**答** 東京電力へ求めている

**質問** 東京電力超高圧送電線からの氷塊落下の安全対策を早急に実施していただきたい。

**答弁**（町長） 町内主要道路（富岡三森線）（黒磯棚倉線）の横断箇所に対する改善について要望した。

今後は回答を待って住民の安全確保をできるよう協議を進めていく。



▶町道富岡三森線

**問** 幼稚園と保育園を一つにする考えはあるか

**答** 一元化は考えていない



▶主要地方道黒磯棚倉線



鈴木 政夫 議員

問

ルネサンス棚倉の現状と今後を問う

答

現在、経営の診断を実施している

**質問** ルネサンス棚倉は昨年度二百五十万円の赤字となり、累積赤字は三億三千八百万円に達し、資本金の六倍を越す額となった。

ルネサンス棚倉、とりわけ第三セクター方式が現代社会に合致しているのかどうか、真剣な検討が必要だと思うがルネサンス棚倉の社長でもある町長の見解を求めたい。

**答弁（町長）** ルネサンス棚倉は平成八年度をピークに利用客、総売上げが減少しているが、これは燃料高騰の影響や、東京特別区職員互助会への返還金などが影響したものと分析している。これら外的要因の外、ルネサンス棚倉の運営自体にも問題があるものと考え、経営コンサルティング会社に経営内容の診断を依頼し、今後の運営に生かしていきたい。



▶ルネサンス棚倉

**問** 町商工業者経営合理化資金制度の改善を

**答** 現行を見直す考えはない

**質問** 町は町内の商工業者を支援することを目的に、商工業者経営合理化資金の融資制度が創設されているが、融資条件の

「町税を滞納していない」は、ハードルが高く利用できないとの声が多い。町税を滞納せざるを得ない商工業者のため、条件の緩和を図るべきと思う。これでは国の制度と比べてハードルが高すぎる。

**答弁（町長）** 融資要件として町税の完納を要件としているのは、多くの融資制度で共通しており、見直す考えはない。

**答弁（商工農林課長）** 国の制度は保証協会に100%の保証をしているが、町の場合、銀行が20%のリスクを負うことになるため、国と町とは制度上の違いがある。

**問** 緊急雇用対策事業の進捗状況は

**答** 新規雇用者は延べ十一名となっている

**質問** 雇用対策の柱として、緊急雇用対策事業が実施されているが、町の雇用対策にどのような効果を与えているのか。

**答弁（町長）** 本町で実施しているのは環境パトロールや公共施設環境整備と町内道路環境整備事業の二つの業務と、さらに追加事業として文化財整理調査事業が県の選定を受けたことにより、新規雇用は延べ十一名となっている。

**質問** 県が実施している「ふるさと雇用再生特別基金」を活用した事業が無かったのはなぜか

**答弁（商工農林課長）** 各課に事業要望を募ったが上がってこなかった。しかし、事業は二十三年度まで続くので検討していきたい。

**問** 八溝山線と富岡・日向前歩道の整備計画は

**答** 八溝山線は二箇所ですでに崩落しているのので通行止めは今年度末まで解除できない。富岡・日向前地区の歩道は計画作成に入るので地元の協力をお願いしたい。

▶文化財整理調査の実施状況





佐川 裕一 議員

# 問 中心市街地活性化基本計画の推進は

## 答 まち工房たなぐらを中心に進めていく



▶まち工房たなぐら

**質問** 一・中心市街地活性化基本計画に沿った事業とは具体的に。

二・商工業者経営合理化資金融資制度の利用

**答弁** (町長) 一・平成十五年に「まち工房たなぐら」を設立しソフト面からも中心市街地活性化の支援体制を整えた。今後の具体的な取り組みについては、短期型事業としては商業人材育成事業、名物市の開催、中期的

事業としては商店街商品力強化事業、空き地・空き店舗対策事業など挙げられており、まち工房たなぐらを中心に進めていくことになる。町としては、まち工房たなぐら等と一緒に事業を進めたい。

二・商工業者経営合理化資金融資制度の利用状況は、平成十九年度は十六件、融資総額五千六百万円、平成二十年度は三十件、融資総額一億二千四百二十万円。

**問 雇用対策を問う**

**答 雇用情勢の安定に努力していく**

**質問** 一・町の失業率はどうか。

二・緊急雇用創出基金事業の実施の具体策を示せ。

**答弁** (町長) 一・最新の福島労働局の公表によると二十一年一月から三月までの東北地方における失業率は六・四％となっている。また、ハローワーク白河管内における二十一年四月末現在の有効求人倍率は〇・二〇倍と低下傾向が続いている。棚倉町無料職業紹介所における最近

の求職者数は月平均二十名程度となっており、景気後退以前の八月と比べ十五名程度増加傾向にあり、依然厳しい状況。

二・公共施設環境整備事業他二つの事業の実施により延べ七名の新規雇用を確保し、追加事業として文化財整理調査事業が県の指定を受けたことにより、新たに延べ四名の新規雇用を確保できる見通し。

**問 新型インフルエンザへの対応を問う**

**答 早目の対応で万全を期す**

**質問** 一・先日対策会議が行われたようだが具体的にはどのようなになるのか。

二・感染拡大の見通しはどうか。

**答弁** (町長) 一・今後、県内や近隣町村に感染者が出た場合、町の対策本部を関係機関の協力のもとに立ち上げる予定であり、町民の皆さんの不安を解消し、弱者と言われるお年寄りやひとり暮らしの方々、さらには基礎疾患を有する方々に対して、厚

生労働省が示している基礎的な対処方針を踏まえ、関係機関が連携し、早目早目の対応で万全を期す。

二・厚生労働省は、新型インフルエンザを季節性と同様に扱ってよいと認定。今年の秋から冬の第二波が要注意と言われているので、引き続き万全の態勢を図っていく。



▶発熱センター設置の県南保健福祉事務所（白河市郭内）



藤田 智之 議員

問

## ルネサンス棚倉の今後は

答

### 経営コンサルティングの結果を活かして今後の方向性を考える



▲オープン以来20年が経過したルネサンス棚倉

**質問** ルネサンス棚倉の今後を

どのように考えるか伺いたい。創設時の理念と目標はどのようなものだったか、地域振興としての経済効果は達成されたか。施設をすべて一括で運営していることに問題はないか。

今後は維持補修が課題になると思うが、長期的な計画は立てられているか。利用されていない建物や敷地の有効利用を進める考えはあるか。

**答弁** (町長) 町活性化の起爆剤として県内外からの誘客を促すとともに、魅力と個性あるまち

づくりの拠点施設として整備し、今年で二十年目を迎えた。

宿泊者累計が百三万人、スポーツ施設利用等の累計が八百二十万人で売り上げの累計が約二百億円。この間に町へ施設整備費納付金として二十四億円、目的外使用料として約二億円が納付された。地元からの仕入れも毎年一億円以上ある。利用者の町内での消費とあわせると経済波及効果は大きく、地域振興に貢献できている。

オープンから二十年が経過し、開設当初のコンセプトが現状に

合致するのかが、施設の老朽化に

どのように対処していくか、また、集客のターゲットを変化させるべきかなど再検討を要する時期に来ており、そのため今年度経営コンサルティングを実施している。安定経営に向け取り組んでいきたい。

**質問** コンサルの結果はどのように公表されるのか。

**答弁** (町長) 十月ごろに結果が出る予定だが、そのままということではなく十分検討し、棚倉町の考えも入れてまとめた。

問 小・中学校間の連携をもっと推進すべきでは

答 先進的な取り組みを参考に研究する

**質問** 棚倉町ではこれまで、小中学校間の連携にどのように取り組んできたか、今後、新たな取り組みは考えられるか。

**答弁** (教育長) 中学校におけるきめ細かな支援体制を充実させるため、中学一年生対象の三十



▶中学校入学にむけた宿泊訓練

人学級、小学校から中学校への確かな情報を伝達するための小学校六年担任と中学一年担任の情報交換、小中学校教師の人事交流、小中連携の学力向上推進会議など、様々な対策を講じており、着実に成果が上がっている。

**質問** 職員の人事交流のある横浜市では全面的に取り組むとの報道があったが、参考にしているか。

**答弁** (教育総務課長) 今後、横浜市の事例などを参考に研究していきたい。



大相 守 議員

# 問 消防団活動の課題は

## 答 計画的に対応する

**質問** 消防団の現在の状況について。火災時の出動体制、水利や消火栓、団員の人員は適正か。車両の配備状況はどうか。

**答弁（町長）** 出動体制は、地元分団と第1分団第2分団が出動する。消火栓等の状況は計画的に設置している。団員の定数については、消防団自ら定数の見直しを行っている。車両配備については三十一班あり、班ごとに消防ポンプ自動車等が配備されており、買い替えについては、計画的に対応していきたい。

**質問** 消防団のこれからの方向性について、仕事の関係で地元でない団員が増えている現在、

特に、平日昼間の火災時に人員確保が困難になると思われるため、OBなどを中心とした組織を作ってはどうか。

**答弁（町長）** 消防団で昼間の火災に出動できる人員を調査しておりその結果を踏まえ、組織の結成について検討されるので、推移を見守りたい。

**質問** 魅力ある消防団にしているため、アポロキャップの買い替えやTシャツをそろえてはどうか。

**答弁（住民課長）** 今後の消防団の意見を聞き、計画的に対応していきたい。



▲出初め式町内パレード

**問** 町の観光振興について、対外的にどうしているか

**答** ルネサンス棚倉を核として、滞在型、回遊型の広域観光に取り組む

**質問** 一、町の観光振興の現況

は、広域ネットワークはあるが、ルネサンス棚倉のPRは十分か。二、県との連携で、東京八重洲にオープンする福島県八重洲観光交流館へ町として出店する考えはあるか。

ていく。

**質問** 町観光協会に公募して、専任の事務局長を置いてはどうか。

**答弁（副町長）** 今後5年間の中で十分に検討していく。

**答弁（町長）** 一、対外的には、

観光振興の柱は魅力ある観光資源と観光商品の提供にあり、ルネサンス棚倉を核として滞在型、周遊型の観光商品の開発に、周辺市町村と協力しながら取り組んでまいりたい。

二、県との連携については、観光交流局、福島県観光物産交流協会、うつくしま観光プロモーション推進機構に参画し連携を図っており、さらに福島県八重洲観光交流館の利用を通して連携を図つ



▶城跡



緑川 健一 議員

問

## ノーマイカーデーの実施状況を問う

答

### ISOの一環として取り組んでいる

**質問** 町職員のノーマイカーデーはいつごろから始めたのか。また、年何回実施し、参加状況の推移はどうかなのか。

**答弁（町長）** 平成十四年十月から実施している。当初は毎月一回実施し、年間十二回であったが、今年度から月二回実施し、年間で二十四回となる。

この取組みはISOの一環として取組み、環境に対する意識を持っていただくために、協力の依頼をして実施している。今後は、町内企業や事業者等に対しても協力の依頼について検討していきたい。



▲ノーマイカーデー実施日（役場南側駐車場）

**問** 東洋シャフトの企業誘致を問う

**答** 経営方針を決定後、町に対し説明

**質問** 世界的金融危機・産業危機・生活危機の状況下で、東洋シャフトのその後の状況は。

**答弁（町長）** 多くの企業と同様景気の後退を受けて、現在のところの業績は減少傾向にあったとの話であるが、現在は下げ止まった底の状態であるとのこと

とである。今後は産業機械業界全体の景気を的確に把握して、現下の経営状況に対応できる経営方針を社内において徹底した後、棚倉工場建設について町に対し説明をしたいということである。

**問** ルネサンス棚倉の経営を問う

**答** サービスを含めた全般的な見直しが必要

**質問** 世界的な不況下の中で、町民に心配をかけない経営戦略のノウハウを実行しているのか。

また、多目的人工芝の張替えに伴う経済効果を町はどう考えているのか。

**答弁（町長）** 平成二十年度単年度赤字を十年ぶりに計上したことからもわかるとおり、不況に起因する外的要因を吸収することができなかつた。しかしながら、これまで蓄積してきたノウハウを生かした対応により売上の減少を最小限にとどめることができたものと考えているが、



▶ルネサンス棚倉

今年度に経営コンサルティングの実施により改善すべき点は改善し、町の観光資源として役割を果たせるよう経営の改善に取り組んでいきたい。

次に、人工芝の張替えによる経済効果は、ルネサンス棚倉への誘客活動にも大きな効果が期待できる。ホッケーにおいては公式戦の誘致、大学・高校の合宿による利用拡大など、経済効果を期待している。

**答弁（商工農林課長）** 東京からのお客様が一番大きいわけであり、関東圏下のお客様と県内からのお客様を今後増やすための受け皿づくり、サービスを含めた全般的な見直しが必要ではないかと考えている。





宮川 政夫 議員

# 問 資源循環型社会形成への施策は

## 答 資源リサイクルの適正処理の徹底を図る



▲ゴミの減量化は急務

**質問** 環境衛生対策の具体的取り組みを問う。

一・ゴミの資源化、減量化施策は。  
 二・新エネルギー導入施策は。  
 三・地域住民の環境美化意識向上のため、「全町一斉クリーンアップ作戦」の回数を増やしてはどうか。  
 四・下水道への接続促進施策は。

**答弁** (町長) 一・東白衛生組合の基本計画に基づき、分別収集、減量化、資源リサイクルの適正処理を進めている。町内の主要なスーパーでも、レジ袋の無料配布をやめ、ごみ減量化、地球温暖化防止に努めている。  
 二・国の補助制度復活により、太陽光発電導入促進のPRを行っている。  
 三・事業所、学校、各種団体等で自主的な清掃作業が行われていることもあり、年一回の取り

組みを続ける。  
 四・公共下水道に、公共枘設置後三年以内に接続した場合の助成制度等により、早期接続の啓発を引き続き行う。

**質問** 東白衛生組合でのごみ減量化に向けた取組はあるか。  
 棚倉町がリードして、減量化策を提示してはどうか。

**答弁** (町長) 減量化に向けた新たな取り組みはない。四町村全体で取り組む必要性は訴えている。

**質問** 環境マネジメントシステムを基に、町民向けのシステムを発信し環境美化の意識高揚を図ってはどうか。

**答弁** (町長) 町民向け環境マネジメントシステムの提供は困難ではあるが、広報を通じて環境美化をしたい。

**質問** 感染症等に対する危機管理体制は十分か。  
 一・感染拡大など、万が一に備えての国保の基金は十分と考えるか。  
 二・レイクマコーリー市との「棚倉中学生ホームステイの旅」の中止の経緯は。

**問** 新型インフルエンザに対しての危機管理体制は機能したか。

**答** 注意喚起から対策調整会議の立ち上げまで、うまく機能した。

**答弁** (町長) 厚労省の指導を基に、相談窓口の開設、広報誌防犯無線、チラシでの注意喚起を行った。また、対策会議を立ち上げ、感染が拡大した場合にも備えている。

一・流行病の発生等による保険給付に要する費用に不足が生じた場合に備えて、医療費一か月分相当額の、国保給付費支払準備基金を設置して、現在もその額を確保している。  
 二・国内で感染が拡大したことやオーストラリア国内でも感染拡大の可能性があったことから、活性化協会、教育委員会、学校での協議のうえ、中止の判断を下した。



▲中止になったホームステイの旅 (昨年 の 出発式)